



北海道地労委で勝利命令

清算事業団二七〇四名 全員の採用を命令

北海道地労委は一月二〇日、国労組合員のJR不採用は「顕著な組合間差別を行った不当労働行為である」「JR北海道、貨物は一七〇四名全員を採用せよ」と命令を出した。大阪地労委に続くこの救済命令は、分割・民営化の真の狙いが十万人首切りにあり、労働組合つぶしのためなら手段を選ばぬ類例を見ぬ悪質なものであった事を満天下にあばき、弾劾したのである。遂に清算事業団労働者は地労委での全面勝利をかちとった。

不当労働行為と認定

北海道地労委の命令は、
①国鉄の職員管理調査は、清算事業団への振り分けという首切りの大陰謀についてふれて、「国鉄が職員を選別し、設立委員会が採用を出す」との形式をとって余剰人員を整理し「たにすぎない」として、まさに手口を変えた整理解雇＝首切りであるとズバリ指摘したのである。その上で、全員を八七年四月にさかのぼって採用する様命じたのである。

国鉄とJRは同一

ここに日帝・自民党あげての国家的不当労働行為が明確にされ、分割・民営化の過程がいかに悪質かつ大規模な組合つぶしであったかを、またそのためならば百名を超す

らかになったのである。これほどまでも明確な地労委の救済命令にもかかわらずJR当局は従う意思など毛頭なく「責任は国鉄にあり、今さら採用する気などない」として開き直っているのだ。一体誰が、国鉄とJRが無関係などと考えよう。首切り名簿を作成したのは国鉄の職制であり、いまではJR各社の職制となり、不当労働行為の張本人どもはぬくぬくとしているではない。さらに仕事も設備もすべて国鉄そのものを引き継いでいるではないか。まさに清算事業団とは首切りの隠れみのに他ならず、JR当局の言い分は、白い黒と言いくるめるためのものである。

2月15日動労千葉 総決起集会に結集を

動労千葉は、清算事業団三年目に入らんとする二月十五日、千葉市民会館において、「清算事業団闘争勝利！八九・三ダイ改阻止！動労千葉総決起集会を開催する。全組合員は総決起しよう。残す一年余り、闘って闘って十二名の仲間・全国の仲間を奪還しよう。

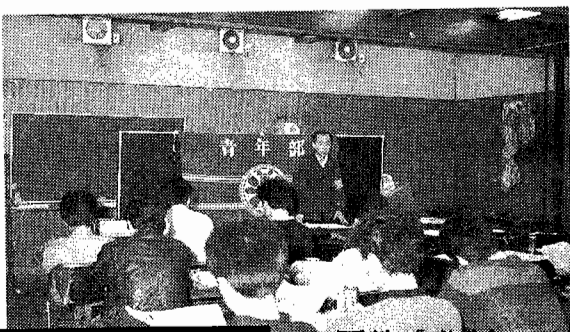
青年部は闘いの先頭に

一月二〇日、一八時すぎより動力車会館において、青年部活動者会議が

二月ストライキへ！

基調提起を行った永島書記長は「ふたたび東中野駅事故を起こしてはならない。大合理化攻撃を粉砕するためにスト体制確立の先頭にたとう！」と表明。討議に移り、各支部より職場の現状が報告され、二月ストライキにむけたピラマキ街宣行動をはじめ一二月行動方針を確認した。

みなさん。清算事業団問題や原職奪還・ローテーションの確立も含め、当局側は何ひとつ動労千葉の要求にまともに応えようとしていない以上、ストライキで闘おうではないか。第二・第三の東中野駅事故を許さぬために総力で闘おう！



一二月行動方針を
確認する青年部